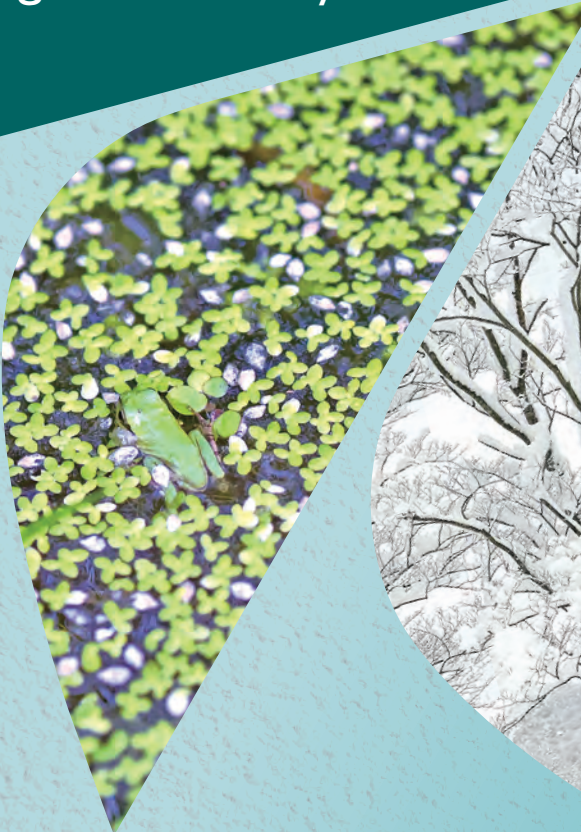




山形大学農学部
学部案内



Faculty of Agriculture,
Yamagata University



Guide book 2023

農と食を繋ぐ

山形大学農学部長
村山 秀樹



山形大学は、6学部からなる総合大学で、4つのキャンパスがあります。その中で農学部は、日本で最初にユネスコ食文化創造都市に認定された鶴岡市にあります。

山形大学農学部の特長は1学科制をとっていることです。1年生は山形市にある小白川キャンパスで主に基盤教育と農学の基礎専門を勉強します。この1年間で、人類が直面している食料、資源、環境問題など、360°広がる農学の中から、自分が勉強したい分野を見つけます。2年生からは、アグリサイエンス、バイオサイエンス、エコサイエンスの3つのコースに分かれて、本格的な専門教育が始まります。そして3年生からは、それぞれのコースの基幹プログラムの他に、地域のリーダーを目指す地域創生プログラムと、国際感覚を身につける国際展開プログラムを選ぶことができるのも大きな特色です。

山形大学では、今年度新たに、農と食を繋ぐ組織として、アグリフードシステム先端研究センターを設置しました。このセンターでは、スマート・テロワールプロジェクトで培った6次産業に、山形大学の総合知、すなわち知識集約産業としての4次産業を有機的に融合することによって、食の10次産業化を目指しています。

総合科学としての「農学」を重視した教育体制

人類が地球規模での危機的な食料、環境、エネルギー問題に直面している今、このような複雑な課題を解決するには、応用力と総合力が必要となります。山形大学農学部では、総合科学としての「農学」を重視した1学科制により、食料、生命、環境科学を総合的に学修し、総合的な判断力を有したバランス感覚のある人材育成を目指しています。



学部一括入試

学部一括入試を行っているので、出願の時点で学びたいことを確定させる必要がありません。入学後1年間、農学の基礎や魅力、各分野について学んだ後にコース選択をするので、1年かけて農学の広範な分野から自分がやりたい内容をじっくり見つけることができます。

3コース ×履修プログラム

「興味や適性で選ぶコース × 将来を見据えた履修プログラム」で、自分の学びたいことを、自分の将来に活かせる学び方で、学ぶことができます。



山形大学 農学部の特色



豊かな文化と自然環境 ～身近なフィールド～

山形大学農学部は日本有数の穀倉地帯であるとともに豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており、農学、生命科学、フィールドサイエンスなどを学ぶ場として最適の条件を備えています。

◆山形大学農学部のある鶴岡市

食文化創造都市 日本初(2014年)ユネスコ認定

森林文化都市 群馬県沼田市、埼玉県飯能市、山形県鶴岡市

SDGs 未来都市 2020年選定

◆実習フィールドとして山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター(農場と演習林)が身近にあることも魅力の一つです。

活発な 国際交流



在学生の約1割が留学生!
令和3年度は4つのオンライン交流プログラムを実施し、延べ160人が参加しました!

SDGsをキーワードにした 研究も多数

農学は、SDGsに対して多面的な貢献ができる、広い範囲の分野を対象とする学問です。本学部ホームページからご覧頂けます。

卒業後の進路

就職率
6年連続
100%



国際交流活動

山形大学農学部では国際交流を活発に行っています。

2016年度から、国際化推進期間としており、「食と農業と環境」をキーワードにした学生の海外派遣・受入れを実施しています。海外協定校の学生と共に学び、活動することを通じて、国際理解を深め、グローバル社会で活躍できる人材を育成しています。2019年度からは、将来、国際的に活躍したい学生を対象とする国際展開プログラムを設置し、さらなるグローバル人材育成に取り組んでいます。

山形大学の修士号を取得することは、私にとって素晴らしい経験です。様々な新しいことを学ぶ機会があり、偉大な先生方や友人たちはいつも私の学習をサポートしてくれます。



農学研究科農学専攻2年（修士課程）

Shinta Dhewi Afriani

(シンタ デウィ アフリアニ) (インドネシア出身)

これまで実施した海外研修



スペイン・ドイツ（9月10日～9月26日）



カンボジア（9月20日～9月28日）



タイ（9月21日～9月28日）



オンラインによる研究プログラム
(ウインタースクール2月17日～3月3日)

● 学部間学術交流協定大学・機関

9カ国 20大学・機関

● 留学生数（2022年4月1日現在）

正規生として16カ国から39名の他、18名の短期留学生を受入れています。

● 令和元年度 学部実施の各種プログラムによる実績

派遣：33名（カンボジア13名、イタリア・ドイツ10名、タイ10名）

受入：72名（インドネシア27名、ドイツ18名、タイ12名、ペルー10名、ベトナム5名）

※新型コロナウイルス感染症拡大により2020年から渡航規制が続く中、本学部ではオンラインによる研究プログラム等継続的に実施しています。

附属やまがた フィールド科学センター

エコ農業部門（高坂農場）、
流域保全部門（上名川演習林）
および社会教育部門の3部門で構成されています。



◆エコ農業部門（高坂農場）

環境保全型汎用水田を有した水稲栽培を基盤として、耕畜連携により物質循環・環境保全型農業を確立しつつ、多種多様な園芸作物の多様性を生かした、環境に優しい持続可能な農業を目指した教育研究を行っています。

◆流域保全部門（上名川演習林）

753haのうち約8割をブナ主体の天然生落葉広葉樹林が占め、年最大積雪深は平均で3mにもなる豪雪地です。その積雪環境と森林生態系の相互関連、水や物質の循環、野生鳥獣の生態に関する教育研究を行っています。

◆社会教育部門

エコ農業部門（高坂農場）、流域保全部門（上名川演習林）と連携し、体験学習、生涯学習およびリカレント教育を行うとともに、開発途上国の農業技術者の研修の受け入れ、国際連携研究などでの国際貢献を担当します。

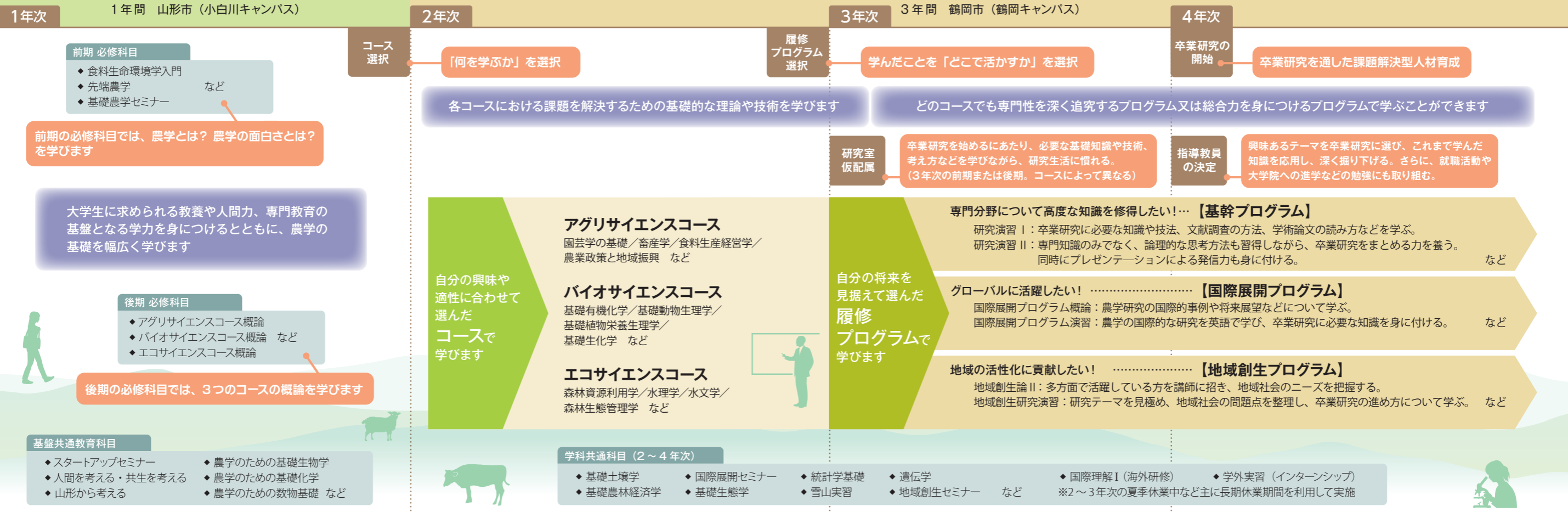


山形大学農学部に入學してから卒業まで

食 料 生 命 環 境 学 科

入 学 試 験 学

大 学 院 卒 業 就 職



1 学科におかれる3つのコース

何を学ぶか？

基礎科目の履修のもとに、自分の興味や適性に合わせて、1年次2月にコースを選択し、2年次からコース配属となります。

アグリサイエンスコース

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成。

フィールド重視の学習で、環境に優しい安全な農畜産物を安定的に生産するための知識や技術、農業経営の発展方策や地域活性化手法など幅広く学びます。

KEY WORD
稲作、園芸、畜産、農業経営、地域振興

バイオサイエンスコース

生命科学に関わる現場で活躍できる人材を育成。

身の回りの植物、動物、微生物などの多様な生物、食品や土壌などを対象に、有機化学、生化学、分子生物学、生理学、食品科学などの研究手法を用いて学びます。

KEY WORD
バイオサイエンス、食品、土壌

エコサイエンスコース

持続可能な自然環境の保全・利用に取り組む人材を育成。

農林業の基盤となる水土環境や地域生態のメカニズム、機能を理解し、それらが生み出す恵みを楽しみながら、将来にわたり持続可能な形で利用、保全、管理するための理論や技術を学びます。

KEY WORD
農山村環境、水と土の科学、森林科学、生物生態、持続的管理



3つの履修プログラム

どこで活かすか？

- 各コースにおける課題を解決するための理論や技術を学んだ後に、2年次2月には
- ・専門分野のより高度な知識の修得を目指す【**基幹プログラム**】
 - ・学んだ理論や技術を活かしてグローバルに活躍したい学生を対象とする【**国際展開プログラム**】
 - ・地域の活性化に貢献したい学生を対象とする【**地域創生プログラム**】
- の中から、自分の将来を見据えて、履修プログラムを1つ選択します。

「地域創生プログラム実習」や「食と農のビジネス論」を受講し農業、特に生産現場への関心が高まりました。また、地域・地元へ目を向ける機会も増えました。将来は就農し、農業を通じて地元へ貢献します。

アグリサイエンスコース（地域創生プログラム）4年 門脇 聖（岩手県立水沢高等学校出身）

基幹プログラム

アグリサイエンスコース、バイオサイエンスコース、エコサイエンスコースのそれぞれの課題を解決するために、より高度な理論や技術を学びます。

KEY WORD
農学、食料、生命、環境、フィールドサイエンス

国際展開プログラム

世界の農業事情と農学研究最前線を学ぶ講義、来日留学生らと交流する演習、海外留学・実習等を通して、国際的に活躍できる人材を育成します。

KEY WORD
英語コミュニケーション、グローバル人材、国際力、留学

地域創生プログラム

コース横断的に食や農を核とした地域の活性化とその好循環を維持する方法を学び、地域社会の課題解決を目指すような卒業研究に取り組みます。

KEY WORD
文理融合、地域社会のニーズ、課題の発見・解決、地域マネジメント

【取得可能な資格】 食品衛生管理者及び食品衛生監視員（任用資格）、食の6次産業化プロデューサー（レベル3）、樹木医補、自然再生士補、GIS学術士

大学院への進学

山形大学農学部では大学院の教育・研究に力を入れており、 大学院進学を推奨しています。

農学研究科は、「農学専攻」の1専攻とし、この中に、幅広い研究分野を網羅した3つの領域（生物生産学、生物資源学、生物環境学）を設置しています。これらの領域を基盤にし、今後の社会で活躍できる農学系の高度専門職業人を育成することを目的としています。

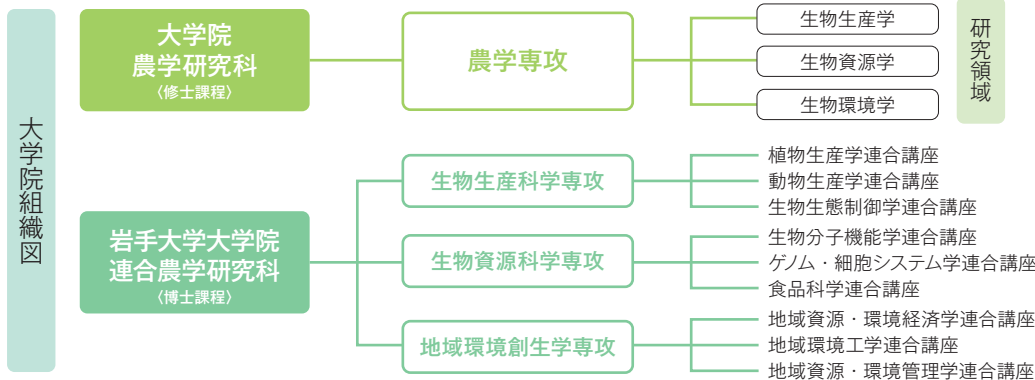
また、山形大学・岩手大学・弘前大学の連合によって設置されている岩手大学大学院連合農学研究科（博士課程）では、進学後も引き続き本学教員の指導の下で研究を進めることができます。

高校生の頃には夢にも思わなかった大学院進学を選択し、現在はドイツに留学中です。海外での学生生活は非常にハードですが、貴重な経験をさせていただいています。



農学研究科生物環境学専攻2年（修士課程）

長谷川 水輝（秋田県立秋田南高校出身）

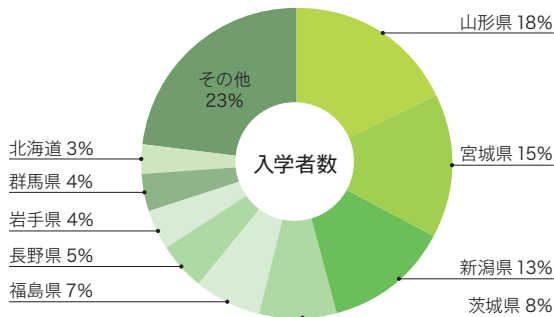


ダブル・ディグリープログラム

山形大学(YU)及びドイツ・ハノーヴァー大学(LUH)の2つの大学を同時に修了し、学位を取得できる制度です。要件を満たせば、最短2年間でYUとLUHの両方から学位(計2つ)を取得することができます。

入試情報

令和4年度における地域別入学者割合



令和5年度 入学試験

学部	学科	選抜区分	募集人員
農学部	食料生命環境学科	一般選抜（前期日程）	95
		一般選抜（後期日程）	25
		総合型選抜Ⅱ	5
		学校推薦型選抜Ⅰ	40

農学部では

前期日程

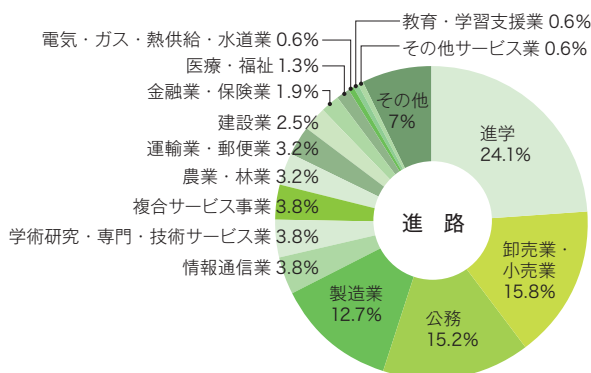
共通テスト(5教科7科目又は5教科8科目)
+ 個別学力検査(1科目)

後期日程

個別学力検査なし で受験できます!

卒業後の進路

就職・進学データ（令和3年度実績）



進学

京都大学大学院 / 東北大学大学院 / 九州大学大学院 / 山形大学大学院 他

就職

卒業生のうち

24.1%が進学、

就職者のうち

53.8%が民間企業

15.2%が公務員

6年連続
就職率
100%

公務員は、農学、林業、土木など、
学部で学んだ専門分野を活かす職種が多い!!

JA全農福島 / JA全農宮城 / 日東ベスト(株) / イオンリテール(株) / (株)でん六 / 越後製菓(株) / 全葉工業(株) / ヤマザキビスケット(株) / 住友林業(株) / 東日本旅客鉄道(株) / (株)ネクスコ東日本エンジニアリング / 農林水産省 / 関東地方整備局 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 秋田県 / 栃木県 / 茨城県など

※就職先・進学先は、令和3年度の実績(抜粋)です。

学生寮

名称	啓明寮
対象	農学部2年次以上 鶴岡キャンパス履修者
定員	男子36名・女子35名
寄宿料（月額）	18,000円
所在地	鶴岡市若葉町12-4
キャンパスまでの距離	鶴岡キャンパスまで500m
建築年	2013年改修
主な設備	ユニットバス、トイレ、ミニキッチン（IH）、冷暖房エアコン
共同利用の設備等	ラウンジ、面会室、洗濯室（コインランドリー）、倉庫、トイレ、自動販売機コーナー
1ヶ月あたりの概算経費	約25,000円 寄宿料：18,000円 光熱水費：約7,000円



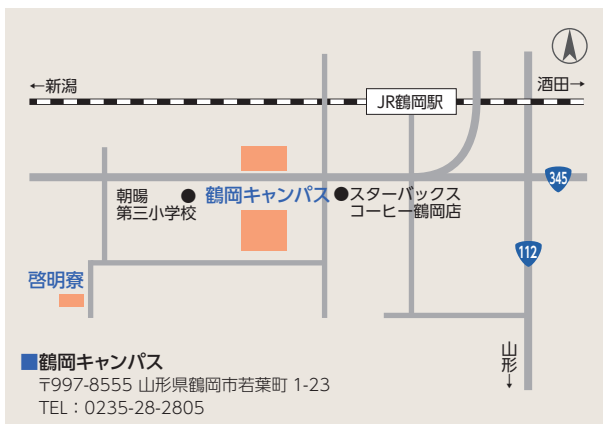
※寄宿料（月額）に食費や光熱水費等は含まれておりません。
※学生寮はすべて個室です。

鶴岡キャンパス



アクセス

東京から	東京駅	JR新幹線	新潟駅	特急いなほ	鶴岡駅	徒歩	山形大学農学部 鶴岡キャンパス
			2時間	2時間		20分	
羽田空港	羽田空港	全日空1日4便	庄内空港	リムジンバス	鶴岡エスモールバスターミナル	徒歩	
			1時間	25分		10分	
仙台から	仙台駅前 (広瀬通40番)	庄内交通・宮城交通・山交バス・羽後交通			鶴岡エスモールバスターミナル	徒歩	
		共同運行高速バス	2時間45分			10分	
山形から	山形駅前 (①番のりば)	庄内交通・山交バス			鶴岡エスモールバスターミナル	徒歩	
		共同運行高速バス	1時間50分			10分	



山形大学農学部



〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町 1-23
TEL/0235-28-2911 FAX/0235-28-2812
<https://www.tr.yamagata-u.ac.jp/>
この山形大学農学部案内でご不明な点や、より詳しく知りたい方は、上記までお問い合わせください。

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。